

## 近畿支部活動報告

11期 加藤忠好

昨年秋に、コロナの一旦収束が見えたので、近畿支部の活動を再開した。しかし、一月末あたりから、さらに大きな波が襲ってきたので、活動を見合わせることにした。それでもすきまのようなチャンスで4回実施できたのは幸運だった。

### 加古川・平荘湖Pw

・実施日 2021/10/21(木)

とにかく集まろう。前号で下見について書いたが、人が少なくてラクチンな山を選んだ。



<升田山山頂にて>

当日は何の心配もいらない秋晴れ。大和武尊の母親の陵がある日岡神社に集合。随分なお年頃ばかりの集団、また、約1年半ぶりの山行きでもあるので、山行きの無事を祈った。(ここは安産祈願で有名な神社ではあるが。)神社からは、これから目指す升田山が見えていた。今では随分と低く見えるが、播磨国風土記には、天まで届く階段(八十の岩橋)があったと記されている山である。

神社からは宮前の古い町並みを眺め、ややこしい道ながら加古川の土手に出た。あのセルリアンブルーの水管橋を渡るのだ。人と自転車だけが通ることができる橋だけに嬉しい。そしてまた、橋の幅が狭いだけにとても長い橋に感じられた。

対岸の堤防に着き、土手上の道を川上に歩く。昔は洪水地帯、それだけに巨大な堤防である。堤防が山に接したところが升田山の登山口(八十の岩橋の基部)である。

下見ではバテてしまったので、今日はある作戦で登ることにした。目的地は山頂なので、各自の好きな速さで登ってもらい、早く着いた人から展望を楽しんでもらうことにした。ちょうど1ピッ

チ弱で登られる山なのが良い。これまで家に長く閉じ籠っていただけに、この岩は絶壁の岩を登っているように感じられた。

山頂からの絶景、特に北西方向の眺めが素晴らしい。眼下に平荘湖を望み、その奥には岩山が連なっている。深山幽谷を俯瞰しているような満足感がある。標高は約100mであるにもかかわらず、この歯ごたえのある登りとこの絶景とで、参加者は充分満足してくれたよう。一方で、神代の人たちが、さらに天まで上っていた辛苦のほども理解できたようだ。絶景を楽しみながらの大休憩、昼食とした。

今度は、進路を西へ、升田山から尾根伝いを歩く。森の中の登山道であるが、時々「~号墳」の文字が……。実はこの道はいくつも連なる古墳群のてっぺんにつけられた道なのだ。それを知っている人と知らない人とは、随分と冷気の感じ方が違うようだ。

古墳群の道が湖まで降りてきた。湖はのちほど立ち寄ることにして、きれいなトイレがあるウエルネスパークという施設に向かう。ここは、芝生広場はもちろんのこと、屋内プール、ジム、図書館、音楽ホールを持つ加古川市の自慢の施設なのだ。この施設で時間をつぶすこともできるが、残った時間を散策と湖面を眺めることに充てた。対岸右側の一番奥の山が昼食を摂った升田山だ。



<平荘湖の湖面の向かいが升田山>

平荘湖は堰き止め人造湖であるにもかかわらず、まるでカルデラ湖のような地形である。加古川からポンプアップし入れている水であるが、意外と澄んでいる。湖面手前ではのんびりと鴨が遊んでいた。平穏な風景、良き一日であった。

通勤時間になる前に電車に乗るべく、早めのバスで加古川駅に向かい、駅で解散した。

## 京見峠から西賀茂Pw

・実施日 2021/11/18(木)

何せコロナ下の計画でなければならない。よって、昼食は、タクシーで京都の山中の隠れ家へ乗り付け、ハンバーグを食べてから山歩き。突拍子もないアイデアが浮かぶ。ところが、これが好評で多くの参加者があり企画者も驚いたくらいだ。

京都鷹峯からの道は古い時代の鯖街道とも言われている。その奥の京見峠を越えた場所にレストランがある。トイレを調査して店に行きついた。下見でもここの雰囲気が入ったので計画に入れたのだ。

集合場所は最終的には山上のレストランだが、いろんな交通機関を使って京都まで来るとも考え、ライトハウス前BSを二次集合場所とした。ここにはタクシー乗り場もあるのだ。しかし、肝心のタクシーがなかなか来ないので焦った。伊豫夫妻と高水間さんは足で鷹峯街道を登って来られたが、その方が早いくらいだった。恐るべし先輩たち！！

山中のくつろげるログハウスで食べるハンバーグもなかなかうまかった。食後のコーヒを楽しんでいると、「今日はどこから登ってきたのですか」と問いかけられた。



### <弁当を持ってこなくても良い山歩き>

山の格好をしていてタクシーできたのだから返答に困った。登りはタクシーでも下山は足で、しかも地図上にルートが描かれていないコースなので、それが救いだ。それだけに手ごわい下りであった。少し前にテニスで膝を痛めたという楠屋さんにとっては予想以上にきつかったようだ。

途中、五山の送り火の一つ、船形を覗き、西賀茂のゴルフ場に降り切り、正伝寺に向かった。

正伝寺の本堂は伏見城の遺構でもある。正面に比叡の山を見ての庭など、落ち着く寺だ。みなさんも気に入ってくれたよう。次に訪れたのは「科

搜研の女」のロケ地、かつ京都三弘法の一つでもある神光院。ここの紅葉は見事だったが、正伝寺同様、西賀茂あたりはほとんど人がいない。



### <京都市街を眼下に>

最後に上賀茂神社に立ち寄った。ここは相変わらず人がいたが紅葉は期待したほどではなかった。境内で伊豫さん寄付の羊糞で恒例の大中小に興じた。秋の日は釣瓶落とし。充実した日であったが、神社は閉門時刻を告げていた。

## 宝塚・大岩岳南麓Pw

・実施日 2021/12/9(木)

阪神間はどこも人が多い。ということで、例外的なここに決めた。何せ宝塚に住んでいる井上さんでもこの山域は知らないのだ。それだけにインパクトが薄い。よって目玉づくりを考える。地図上では神戸市、芦屋市、西宮市、宝塚市と並立しているが、実は神戸市と宝塚市が接している地点があるのだ。その貴重な市境の稜線歩きを目玉に……。

天気晴朗。駅の両端がトンネルという谷底にある武田尾駅に参加者全員が集合。両側の崖から200m上の台地までバスで登る。前回も、京見峠までタクシーで登ったし、最近はこの手合いが多い。まあ、マスクをしながら歩くのだから、それも時節にあった高齢者の合理性ともいえる。

約15分で台地上の境野に着く。宝塚市といっても、この辺鄙な場所は取り残されたよう、昔ながらの里山風景が広がる。山地を利用した西谷公園でトイレ休憩。この辺りから徐々に里山から森林地帯へと景観が変わっていく。

また、ここには丸山湿原という兵庫県最大の湿原がある。その時節になると珍しい植物が見られるという。一方、この辺りはよく似た地形が多い

ので、迷い易い地帯でもある。その割には道標も少なく、湿原から西となると極端に人が少なくなる。

秋枯れの湿原を過ぎ、緩く登り281mの三角点に着いた。土壌のせいか高い樹木がなく低灌木が広がる。それゆえに低山の割りに見晴らしが良い。中国自動車の向こうは裏六甲の山並みだ。その右手には、さほど高くない山々が見える。この一帯は中世に栄えた土地である。山々の下には、小さな盆地が点々とあるのだろう。そして清らかな小川が流れているのだろう。ここからの風景にそんな想像をしながら、昼食とした。紅葉にはまだのような、一方では紅葉を過ぎたような木々が景色に華やかさを添えていた。

さて、ここからが神戸市と宝塚市の市境だ。神戸市は背後に六甲山を持っているが、それだけでは大都市の人口を賄うには水が足りない。それゆえ武庫川に水を求めたが、すでに下流域で水利権を持っている西宮などが許すはずがない。そこで神戸市は、苦肉の策として武庫川対岸の支流に目をつけここに水源ダムを建設した。大正時代の話だ。それゆえ、こんなとんでもないところに宝塚との市境ができたのだ。道に沿って神戸市の標石がいくつも見られた。宝塚市の標石は見つからなかった。闖入者は神戸市といわんばかりに。



<トトロに出てくるような道もあった>

景色の良い緩い丘陵地帯を歩き、道に迷うことなく無事急崖を降りた。崖の下にはトトロに出てくるような森のトンネル道があった。東山橋から今日の終着点の道場駅へは約20分だった。

### 京都・長尾山Pw 再京都・長尾山Pw

- ・実施日 2022/4/21(木) 雨天中止
- ・実施日 2022/5/12(木) 雨天中止

### 網引湿原Pw

- ・実施日 2022/6/2(木)

4月5月と雨に見舞われ、活動中止となったが、コロナがまだまだ頑張っていたので、残念な気持ち半分と、安堵が半分だった。



<網引湿原での憩い>

で、今回は再々長尾山Pwも考えたが、暑い季節、その中でのマスクをしての山行きもどうかと思った。ならば視点を変え、大阪からはやや遠いが珍品のトキソウを見に行くことにした。

場所は東播磨西北の加西市の南部。そこはかつて山に囲まれた盆地状の森であったそうだ。開発のために森を伐採したものの、湧水があり利用をあきらめたところ湿地になったという。爾来、周辺の土地では絶滅した珍しい動植物がここに残存する結果となり、逆に貴重な湿原といわれ今日に至っている。

加西市は古墳が多いなど古代から栄えた土地であるが、大河を持たないため、中世が止まったような土地柄である。事実、水は姫路の川から水を買っているの、水道代が高いと聞いている。

1時間に一本の北条鉄道。この景色ともあわせて、気ものんびりしてくる。駅からカップ封じのお地藏さんや糠塚山の麓の麦畑などを見ながら歩いていると、突然三宅さんからの携帯が鳴った。車ならば、高槻からは半分の時間で来ることが出来たそう。少し前から途中にある公会堂の駐車場で待っているとのこと。急がねば。

湿原の入り口で靴を洗う。外来生物を防ぐためだ。トキソウが盛りの頃で足元に咲いている。こんなに咲いているとどこにでも咲いている花かと錯覚してしまいそうなくらいなのだ。ノハナショウブも咲いていた。ハッチョウトンボも飛んでいた。このトンボは思ったよりも小さいので、なか

なか見つけられない人も居た。ハエを探す気持ち  
 しているとすぐに見つけられるトンボである。

なんとなく出ている水、この湿原の水もそうで  
 あり、さらに半日村のような盆地状の地形が水は  
 けを悪くしているのだろうか。それ故か湿原の山  
 域に入るとやや涼しい。湿原だから蚊がいるだろ  
 うと思って、蚊よけ対策をしてきたが、不思議と  
 誰も刺されることはなかった。

湿原をグルグルとまわり観察もしたが、休憩所  
 で、のんびりとコロナ中のいろいろな話ができた

方が楽しかった。何を話したか忘れたが、この仲  
 間といるのが愉快なのだ。堺市から参加の畔山さ  
 んとは2年以上ぶり。考えてみると、それ以外の  
 人でも、コロナや雨で山行きが実施されなかつた  
 ので、全員が久しぶりだったのだ。

湿原の森の外に出ると熱気が襲ってきた。

歩いた距離は約1万歩ぐらいであったが、日頃  
 歩いていなかったので少々疲れた。それでも晴天  
 に恵まれた良い一日、心地よい疲れだった。

**近畿支部の活動まとめ (2021 年秋以降)**

名前に添字のある方は女性、○は期です。

2021/10/21(木)	<b>加古川・平荘湖Pw</b> (企画 加藤、高村c) 参加者 11 名 金岩⑤、伊豫⑧、篠島⑧、伊豫a⑩、加藤⑪、加藤s⑪、赤地⑫、赤地k⑬、 宇野a⑮、高村c⑮、三宅⑯
JR日岡駅～日岡神社～水管橋～升田山～ウェルネスパーク～平荘湖(バス)＝JR加古川駅	
2021/11/18(木)	<b>京見峠から西賀茂Pw</b> (企画 加藤) 参加者 11 名 伊豫⑧、高水間t⑧、伊豫a⑩、加藤⑪、加藤s⑪、楠屋t⑬、 宇野a⑮、鈴木⑮、高村c⑮、三宅⑯、井上⑰
京見峠～Rはせがわ～氷室分れ～秋葉山～船山～西賀茂～正法寺～神光院～上賀茂神社	
2021/12/9(木)	<b>宝塚・大岩岳南麓Pw</b> (企画 伊豫、加藤) 参加者 7 名 金岩⑤、伊豫⑧、伊豫a⑩、加藤⑪、加藤s⑪、三宅⑯、井上⑰
JR武田尾駅(バス)＝境野～西谷公園～丸山湿原～三角点～大岩岳分岐～東山橋～JR道場駅	
2022/1月～3月	コロナが再蔓延したため活動を停止
2022/4/21(木)	<b>京都・長尾山Pw</b> (企画 加藤) 雨天中止
2022/5/12(木)	<b>再・京都・長尾山Pw</b> (企画 加藤) 雨天中止
2022/6/2(木)	<b>網引湿原Pw</b> (企画 加藤) 参加者 7 名 伊豫⑧、伊豫a⑩、畔山⑪、加藤⑪、加藤s⑪、宇野a⑮、三宅⑯、 北条鉄道網引駅～カッパ封じ地蔵～糠塚古墳～南網引公会堂～網引湿原 (往復)
2022/10/28(金)	<b>磯城・山邊Pw</b> (企画 加藤) 参加予定 12 名 (報告は次回で)



＜京都三弘法の一つ神光院の見事な紅葉：京見峠から西賀茂Pw＞